



千葉県議会報告

令和5年 10月号

千葉県議会議員(緑区) 竹内 圭司
立憲民主・千葉民主の会

発行人 千葉県議会議員 竹内 圭司
緑区
事務所 TEL 043-312-0024
FAX 043-312-0049
千葉県緑区おゆみ野中央 4-4-18
E-mail: infomation@ab.cyberhome.ne.jp
ご意見等ございましたら、ご連絡ください。

豪雨災害への対策など14項目

9月定例県議会で代表質問

9月定例県議会(9月13日~10月11日)が開催され、竹内圭司は9月20日に代表質問を行いました。その質問要旨と回答内容の一部を紹介します。



令和5年9月議会

質問項目

- ① 豪雨災害への対策について
- ② 知事の政治姿勢について
- ③ 千葉県版デジタル化について
- ④ 県職員へのカスタマーハラスメント対策について
- ⑤ 社会的養護が必要な子どもへの支援について
- ⑥ 妊婦健診について
- ⑦ 千葉県特定再生資源屋外保管業の規制に関する条例の運用について
- ⑧ 有害鳥獣対策について
- ⑨ 地域経済の活性化について
- ⑩ 令和7年度の都市計画の見直しについて
- ⑪ 教職員によるわいせつセクハラ行為について
- ⑫ 県立学校でのコミュニティ・スクールの現状と今後の取組について
- ⑬ 新千葉県立図書館・県文書館複合施設について
- ⑭ 信号機の整備について

● 豪雨災害への対策について



質問

今回の台風13号による被害があったが、流域治水プロジェクトの取組の状況およびその効果を県はどう認識していますか。

また台風13号による被害を踏まえて、一宮川水系の治水対策をどのように進めていくのですか。

大規模災害が発生した場合における、市町村による災害廃棄物の処理費用への財政支援は、どのようになっていますか。

回答

今回の大雨では、県内の広い範囲で河川の越水や土砂崩れなどが発生し、家屋の浸水、道路や農地の冠水、鉄道軌道敷の崩落など、多くの被害が生じました。

県では、被害状況の把握や応急対策に万全を期するため、速やかに災害対策本部を設置するとともに、土砂災害警戒情報が発表された市町村等にリエゾンを派遣したほか、ヘリコプターやドローンを活用して情報収集を行いました。

また、被害者支援として、茂原市など8市町に災害救助法を適用するとともに、特に被害の大きい地域には職員を派遣し、住家の被害状況の調査や罹災証明の交付、廃棄物の処理などの業務を支援しています。

今後も市町村と連携して、今なお不自由な思いをされている被災地の人々にしっかりと寄り添い、県民生活の再建と事業活動

の再開、継続に向けた支援、インフラの早期復旧などに全庁を挙げて取り組んでいきます。

要望

茂原市では、県が約200億円かけて整備を進めている第二調節池では満水になっていたとのことで、これまでの県の取組により、被害を軽減することができたと評価しています。しかし、未調整のところから越水し、被害が発生したことも事実です。整備のスピードアップを要望します。今後、地元茂原市の意向や要望を十分反映できるよう議論を進め、整備方針の見直しに繋がっていただきたいと思います。今回の線状降水帯、記録的な降水量を踏まえ、県内全域の河川整備の在り方について見直していく必要があると思います。県内217ある県管理河川の越水によって浸水、家屋倒壊などがあってはなりません。全ての県管理河川において、今回の豪雨と同じ降水量でも耐えられるのかどうか、早急に見直すことを強く求めます。





県議会にて一般質問

●知事の政治姿勢について

女性活躍の推進について

女性職員の管理職への登用は、どのような考えに基づいて進めているのですか。また、どのような効果があると認識していますか。

回答

社会・経済情勢の変化や多様化する県民ニーズに的確に対応するためには、人材の多様性を確保して、多様な価値観や創意工夫をもたらすことにより、政策の質と行政サービスの向上を図ることが重要です。このため、職員一人ひとりがその能力を発揮できる環境づくりを進めるとともに、女性職員が活躍し、これまで以上に多様な視点や考えを取り入れていく必要があることから、県では、「女性職員活躍推進プラン」に基づき、女性職員の登用に関する数値目標を定め、政策決定過程への女性の参画を継続的に推進しています。今後も、適材適所を基本に、意欲と能力のある女性職員を組織の中核となるポストに積極的に登用してまいります。

再質問

女性職員の更なる活躍を推進するため、今後、どのように取り組んでいくのですか。

回答

今後も、仕事と生活の調和のとれた働き方のできる環境を整備するとともに、日々の業務や研修を通じて、職員の意識改革や女性職員のキャリア形成支援に取り組んでまいります。また、従来、女性職員が就いていなかった役職に登用するなど、引き続き、その職域の拡大を図ってまいります。

質問

県の審議会等における女性委員の登用を促進するため、どのように取り組んでいるのですか。

回答

政策決定過程に女性の視点を取り入れるためには、様々な分野の有識者や団体等から意見を聴取する審議会等の委員についても、女性の登用を進めることが重要であると考えています。そのため、各審議会委員の改選時には、幅広い分野の女性人材情報をまとめた人材リストを活用するほか、各団体に適切な女性候補の推薦を働きかけ、女性登用の推進を図っています。今後も、関係団体等とも連携しながら、審議会等の女性委員の積極的な登用に努めてまいります。

質問

民間企業等における女性の活躍に向け、県としてどのように取り組んでいるのですか。

回答

企業等において女性が活躍するためには、男女を問わず、子育て、介護などのライフイベントとキャリア形成を両立できる柔軟な働き方などについて、広く県内企業等に理解を深めてもらうことが重要と考えています。

そのため、県では、リモートワークなど柔軟な働き方に積極的に取り組む事業所を表彰し、パンフレットや動画で紹介するほか、産業団体等で構成する「千葉県男女共同参画推進連携会議」において、セミナーなどを開催し、企業等の意識啓発を図っているところです。

また、今年度は、経営者を対象に、女性が働きやすい環境づくりの実例を具体的に学べるよう、研修会や情報交換会を開催し、企業等における女性活躍をさらに推進してまいります。

要望

日本の縮図といわれるこの千葉県で、全ての産業において、引き続き、全ての女性が活躍するための取組を更に進めていただくよう要望します。

千葉県男女共同参画推進事業所の表彰について、この賞を取りたいと、多くの県内事業所が女性活躍に取り組むよう、本賞が権威あるものとなるよう努めていただくよう要望します。

●デジタル化について

県として、どのような視点をもってデジタル化に取り組んでいくのですか。

回答

本県は、都心に近接しつつ自然に恵まれ、また、成田空港等の国内有数のインフラやバランスの取れた産業構造など多様な魅力を有しており、こうした千葉らしさを、デジタルを効果的に活用することで更に伸ばし、地域に活力を生み出すという視点が重要であると考えています。

そのため、県では、DXの推進戦略において、

- ・テレワークやワーケーションなどの新しい働き方や、移住・二地域居住の促進
- ・デジタル技術を活用した成田空港の東アジア物流拠点化
- ・イノベーションの促進などによる新産業の創出
- ・農林水産業のスマート化による生産力の強化

などを進めていくこととしています。

こうした本県ならではの特性を生かして「デジタルのチカラで創る県民の心豊かな暮らしと活力ある千葉」の実現を目指してまいります。

質問

県として、どのような視点をもってデジタル化に取り組んでいくのですか。県民一人ひとりのニーズに応じたきめ細かなデジタル化を進めていくべきと考えますがどうでしょうか。

回答

デジタル技術は、時間と場所の制約を超えて多様で創造的な付加価値の提供を可能とすることから、

- ・SNS等多様な相談チャネルの推進や個人のニーズに応じたプッシュ型の情報提供
- ・あらゆる人々が、より気軽に、より身近に文化芸術に親しむことのできるデジタルミュージアム

などの取組を進めていくこととしています。

引き続き、デジタルの活用により、県民一人ひとりの思いに寄り添い、ニーズに応じたきめ細やかなサービスを提供できるよう取り組んでまいります。

